

進捗状況の概要

平成 28 年度からの円滑なプログラム開始に向け、以下のとおり実施体制を整備し、プログラム開始準備を行った。

【実施体制の整備】

本学の教学マネジメントを行う大学教育推進機構の下に、「神戸グローバルチャレンジプログラム委員会」を設置した。同委員会では、平成 28 年度から実施するプログラムのコースを審査・認定するとともに、単位授与制度を整備して各コースを全学共通授業科目の総合教養科目「グローバルチャレンジ実習」として認定したほか、実施に向けた制度の整備や予算執行、プログラムの運営に関する意思決定を行った。あわせて、各コース及びプログラムの自己評価に関する具体的な手続きや仕組み・体制について検討を開始した。

また、グローバルチャレンジプログラム担当のコーディネーターを雇用し、コースの企画・立案、受入先との交渉・調整を行うとともに、派遣職員を雇用し、本事業の実施に係る補助を行った。

【実施コースの整備と学修成果の把握】

本プログラムを実施・拡大するため、国内外の同窓会ネットワークや海外の企業、国際機関、協定校等へ本プログラムのコーディネーターやコース責任者等の教職員を派遣し、学生の受入先の事前調査及び開拓を行い、学生の受け入れ体制の整備を行った。

また、プログラムに関わる教職員を主な対象として、海外の有識者や海外へ学生派遣を行っている他大学の教員、民間企業で新入社員の海外研修プログラムを提供しているコンサルタントを講師として招聘し、学生を海外に送り出すにあたり必要な知識、海外での危機管理等について、FD・SDを実施した。

さらに、学生が自身の学びを定期的に振り返り、その内容を確認することができるように教務システムを改修した。また、学修成果を把握するため、学生が自ら設定した学修目標やそれに向けた準備等を記載させる「チャレンジシート」、達成状況や課題等を記載させる「リフレクションシート」を統一の様式として整備した。そのほか、各コースに参加した学生の教育成果を測定するために、プログラム全体で統一したループリックの整備について検討を開始し、翌年度4月に制定する予定である。

【広報・学生募集開始準備】

事業の目的やプログラムの効果を学内にアピールするため、学生を主な対象としてキックオフセミナーを開催した。外部講師を招聘し、国際的なフィールドでの学外学修の効果について説明を行うとともに、海外での学外学修の経験のある学生を TA や学生補佐員として雇用し、必要な準備や当日のファシリテート、海外学修経験の成果報告を担当させた。平成 28 年度に実施する各コースの説明ブースを設け、参加を希望する学生に対する個別の相談に対応した。

また、プログラムとして認定したコースの一部において、海外の有識者や国内のグローバル機関から外部講師を招聘して学生向け講習会を開催し、学生募集を開始した。あわせて、プログラムの具体的な取組の説明や各コースの学生募集等の情報が掲載された専用のウェブサイトを開設した。

平成 28 年度コースについてのパンフレットを作成し、学生へ配布を開始した。また、全国のスーパーグローバルハイスクール及び、本学に入学する可能性の高い近畿圏の主要な高等学校にパンフレットを配布し、本プログラムの広報を行った。

学生の英語能力を向上させるため、外国人講師及び TA を雇用し、本プログラムの対象である 1・2 年次生を主な対象として英語力向上セミナーを実施した。